

2019年4月4日

各 位

株式会社 みなと銀行  
みなとキャピタル 株式会社

「みなと成長企業みらいファンド」による投資実行について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（頭取 服部 博明）他が設立しました「みなと成長企業みらいファンド投資事業有限責任組合」は、2019年3月、株式会社インキュベーション・アライアンス（本社：神戸市、代表取締役社長：村松一生。以下同社）への投資を実行しましたのでお知らせします。

同社は、株式会社神戸製鋼所出身の村松 一生氏が2007年に創業し、炭素系新素材「グラフェン(\*)」の製造、販売を行うベンチャー企業で、炭素系新素材であるグラフェンの量産化に世界で初めて成功するなど、高度な合成技術を有しています。グラフェンは銅やアルミニウムの10倍以上熱を伝えやすく、軽量の素材でスマートフォンなどの高性能電子機器の放熱部材として、様々な用途への応用が期待され、市場拡大が見込まれています。

本投資資金は、今後のIoTの進展に伴い、高性能電子機器などに使用される放熱部材の需要が高まる見通しであり、大量生産を見据えた生産能力の整備などに充当するものです。

当行グループは、今後もファンドの出資やコンサルティング活動を通じて、成長産業を積極的に支援してまいります。

\*グラフェン

炭素原子が網目のように六角形に結びついてシート状になっているもの。ダイヤモンドよりも固く、熱を伝える速さである熱伝導度が大きい。2010年には英国のグラフェン研究者2名がノーベル物理学賞を受賞した。従来から世界中でグラフェンの研究開発は活発に行われていたが、大量に製造する技術は確立されておらず、実用化には至っていなかった。

【投資案件の概要】

投資先名	株式会社インキュベーション・アライアンス 代表取締役 村松 一生
所在地	神戸市兵庫区和田山通1丁目2-25 神戸市ものづくり工場D棟307号
事業内容	炭素材料の製造販売
投資額	30百万円
投資形態	第三者割当増資

以上